

福高はあなたの「みらい」を応援します！

文理科学科

文理科学科では「みらい学」という特別授業を実施しています。その活動の中で、外部から有名講師をお招きして行われる特別講義があります。今回はその第2回目の様子を皆さんに御紹介したいと思います。また、2年生が6月に行ったマレーシア・シンガポール研修旅行についても御紹介します。



「みらい学Ⅰ」特別講義

6月15日（金）実施

京都大学大学院経済研究科 教授 植田 和弘 先生



「みらい学Ⅰ」では「経済学」をテーマとした特別講義を実施しました。「環境と経済を考える」と題して、生徒たちに経済学に関する最新の内容を分かりやすく語られました。環境経済学の草分けとして知られる植田先生は、現在、大阪市エネルギー戦略会議の座長を務められています。また、日本のエネルギー問題全般にかかわる代表的な研究者として多忙な日々を過ごされています。当日の講義では、エネルギー問題を中心に、今後の日本経済の在り方などを高校生に分かりやすいように、御説明いただきました。そんな中、生徒たちは真剣に聴き入り、積極的に質問するなど、熱心な態度で受講していました。今後は植田先生から提示していただいた研究課題をもとに、グループで研究活動に取り組み、9月の研究交流会でその研究成果を発表する予定です。

文理科学科1年 田中 克樹 与謝野町立加悦中学校出身

植田先生の講義を聞いて学んだことは、「何をやるにしても疑問を持ち、自分の考えを持っておくということ」です。ふと疑問に思ったことから、自分なりに筋道を立て調べ、結果に至ることが、自分の力になるのだと思いました。また、何でも受身するよりは、「こうではないのか」、「こうしたらどうなるのか」など、さまざまな事例に対し批判的な立場に自分を置くことで、より物事を探究できるのだと感じました。これから自分たちの研究活動がスタートします。僕たちのテーマは「消費税増税は是か非か」です。この問題に対し批判的な視点から自分なりの問題点を見出し、この問題解決に向けて研究をしていきたいと思っています。



マレーシア・シンガポール研修旅行 ～本物と出会い、本物に触れ、本物を知る～



文理科学科2年生の研修旅行が6月4日（月）から9日（土）に5泊6日の日程で実施されました。目的地はマレーシア・シンガポールです。

このマレーシア・シンガポール研修旅行は国際感覚に優れた生徒を育成するという文理科学科の方針に基づき実施されました。また、マレー半島の歴史・文化に触れるとともに、コミュニケーション能力を高めるために現地の高校・大学とも交流会を開催しました。



現地到着&ガイドさんと合流



国立マラヤ大学交流会



国立マラヤ大学の学生と共に



現地の高校との交流会



マラッカ市内研修



クアラルンプール市内研修



現地の高校生に日本の文化を紹介



食事風景



シンガポール市内研修

文理科学科2年 出澤 華 福知山市立南陵中学校出身

出国前から予想していた通り、ハードな研修旅行でした。しかし、とても楽しく、充実した6日間を過ごすことができましたと思います。一番印象に残ったことは、学校交流です。マレーシアの大学と高校で行いました。大学では、日本語の学習をしている大学生がいて、あまりにも日本語がうまいので違和感なく楽しく接することができました。高校での交流会では、同級生ということもあって、すぐに打ち解けました。また、彼らはエネルギーに満ち溢れていて少し驚きました。ここでの交流は大学のものとは異なり、英語を使ってコミュニケーションをとらなければいけません。相手の言っていることの半分くらいが分からず、聞き取れた単語から想像力を働かせて、なんとか交流会を乗り切ることができました。学校交流は、高校生である今しか体験できないものです。「今しかできないことを精一杯しよう」研修旅行を通して私はそう自分の考えを一新させました。

